



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部 部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	119,093	1.1	8,886	7.3	8,906	8.2	4,687	18.9
2019年3月期第3四半期	117,829	2.3	9,586	2.1	9,706	2.4	5,781	0.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,126百万円 (15.8%) 2019年3月期第3四半期 6,086百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	165.20	
2019年3月期第3四半期	203.79	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	86,521	44,097	46.0	1,403.45
2019年3月期	70,738	39,578	53.5	1,333.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,823百万円 2019年3月期 37,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		60.00	80.00
2020年3月期		22.00			
2020年3月期(予想)				61.00	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,240	1.5	10,870	1.8	10,900	3.6	5,300	17.4	186.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年2月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	30,213,676 株	2019年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,838,346 株	2019年3月期	1,838,256 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	28,375,357 株	2019年3月期3Q	28,371,934 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第3四半期連結累計期間】	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって穏やかな回復傾向が見られ、雇用情勢の着実な改善が進むものの、金融資本市場の変動や米中通商問題の悪化懸念、英国のEU離脱問題などにより、先行きの不透明感が増えています。衣料品小売業界においても女性の社会進出に伴うビジネス衣料の需要拡大やネット通販売上の伸長、消費増税前の駆け込み需要などが見られた一方、不安定な天候要因や自然災害の発生、消費増税後の反動、年金問題などによって消費者マインドは弱含みとなり、お客様の慎重な購買行動は継続しています。

このような状況の下、当社は2020年3月期の単年度経営方針として「新経営理念を軸に中期最終年度の計画必達」を掲げ、当社グループの体質改善、収益改善、成長基盤の確立に向けた様々な取り組みを実施します。この達成に向け「強い経営基盤の確立」、「実店舗の強みを活かしたECの拡大」、「既存事業のマーケット変化への対応」、「未来の成長に向けた取組の実施」の4つの重点取組課題を定めました。

1. 強い経営基盤の確立

2019年4月に改定した経営理念の徹底推進に向け、全社員参加の理念研修や社長自ら店舗に巡回して理念への思いを共有する理念セッションを継続的に開催し、経営理念の理解浸透を進めています。同時に人事制度の見直し、柔軟な雇用形態の推進、有給休暇取得推進、残業時間の抑制など、従業員が安心して働ける職場環境を整え、強い経営基盤の確立につなげます。間接部門の業務も中長期的なタムで抜本的な見直しを行い、生産性の向上を図ります。

2. 実店舗の強みを活かしたECの拡大

ネット通販については、自社ネット通販サイトの開発遅延に伴う一時的な運営停止はあったものの、他ショッピングサイトへの在庫配分や適時の販促プロモーションの実施で売上を伸ばしました。実店舗においては主に商品管理などの店舗付帯作業を担当するパートタイム労働者の採用を増やし、正社員が接客販売に注力できる体制を整え、販売力を強化しています。当第3四半期連結累計期間の単体既存店売上高前期比は、実店舗は95.7%と前年を下回ったものの、ネット通販は119.4%と増収し、小売+ネット通販合計で101.0%となりました。

3. 既存事業のマーケット変化への対応

トレンドマーケットにおいては質の向上による収益率の改善、ミッドトレンドマーケットにおいては売上規模拡大による収益額の向上、ニュートrendマーケットにおいては社内構造改革と店舗の効率運営策の実施による収益額の向上を目指し、様々な取り組みを実施します。トレンドマーケットでは店舗特性に応じて事業の枠を越えた品ぞろえを行いお客様ニーズに対応したほか、ウィメンズ新ブランドの展開を開始しています。ミッドトレンドマーケットではビジネス衣料やウィメンズ衣料に特化した小型店舗の出店を行なっています。

4. 未来の成長に向けた取組の実施

台湾においてユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング、コーエンの出店開発を進め、当第3四半期連結累計期間にはコーエンを2店舗オープンしています。加えて、将来的な中国市場開拓に向けて、中国現地法人の設立を決定しました。

出退店では、第一事業本部：5店舗の出店、4店舗の退店、第二事業本部：6店舗の出店、2店舗の退店、アウトレット：1店舗の出店を実施した結果、当第3四半期連結累計期間末の小売店舗数は216店舗、アウトレットを含む総店舗数は243店舗となりました。

続いて、主な連結子会社の状況として、株式会社フィーゴは、閉店に伴う売上減や卸売の減等により減収となったものの、販管費の低減、売上総利益率の改善等により増益となりました。出退店では3店舗の出店、4店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は17店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン（決算月：1月）は、増収となりましたが、暖冬に伴う秋冬商品の値引き販売の拡大等により減益となりました。出退店では3店舗の出店、4店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は85店舗となりました。

連結子会社のCHROME HEARTS JP合同会社(決算月:12月)については、新規投入商品が好調に推移したこと等により、増収増益となりました。なお当第3四半期連結累計期間末の店舗数は10店舗です。

また、連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は2店舗の出店により6店舗、連結子会社の株式会社Designs(決算月:1月)の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は2店舗の出店により3店舗です。

以上により、グループ全体での新規出店数は19店舗、退店数は13店舗、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は364店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比1.1%増の119,093百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+ネット通販既存店売上高前期比は101.0%となりました。売上総利益は前年同期比0.8%増の62,660百万円となり、売上総利益率は暖冬に伴う秋冬商品の値引販売の拡大等に伴い、前年同期から0.1ポイント低下の52.6%となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比2.3%増の53,774百万円、販売費及び一般管理費率は前年同期から0.5ポイント増の45.2%となりました。これは、備品消耗品や研究調査費、その他固定費の減があったものの、ネット通販に関連する広告宣伝費の増や人件費の増等があったためです。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は8,886百万円(前年同期比7.3%減)、経常利益は8,906百万円(前年同期比8.2%減)となりました。また、自社ECの開発に関わる無形固定資産(ソフトウェア)や営業店舗の一部について、計988百万円の減損損失を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,687百万円(前年同期比18.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して16,749百万円(37.6%)増加の61,282百万円となりました。これは、現金及び預金が4,654百万円、商品が6,850百万円、未収入金が5,072百万円、それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が53百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して966百万円(3.7%)減少の25,238百万円となりました。これは、開発中の自社EC(ネット通販)サイトの構築などにより、無形固定資産が95百万円増加した一方、償却、減損などにより、有形固定資産が299百万円、繰延税金資産の減少などにより、投資その他の資産が763百万円、それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して11,041百万円(40.8%)増加の38,123百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,716百万円、短期借入金が10,660百万円、それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が1,500百万円、未払法人税等が644百万円、賞与引当金が1,560百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して222百万円(5.4%)増加の4,300百万円となりました。これは、出店などに伴い資産除去債務が223百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4,518百万円(11.4%)増加の44,097百万円となりました。これは、資本剰余金が非支配株主への持分譲渡により156百万円増加したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により4,687百万円増加した一方、配当金の支払等により2,855百万円減少したこと、その他の包括利益累計額が5百万円増加したこと、そして、非支配株主持分が2,524百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日に発表した2020年3月期の通期連結業績予想数値を修正することといたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2020年2月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」

をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,103	10,758
受取手形及び売掛金	186	132
商品	24,407	31,257
貯蔵品	581	644
未収入金	12,587	17,659
その他	670	832
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,533	61,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,195	8,132
機械及び装置（純額）	930	813
その他（純額）	1,747	1,629
有形固定資産合計	10,873	10,574
無形固定資産		
その他	2,783	2,879
無形固定資産合計	2,783	2,879
投資その他の資産		
差入保証金	8,180	8,292
その他	4,389	3,514
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	12,548	11,784
固定資産合計	26,205	25,238
資産合計	70,738	86,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,648	14,365
短期借入金	2,100	12,760
1年内返済予定の長期借入金	1,500	-
未払法人税等	1,673	1,029
賞与引当金	2,340	780
役員賞与引当金	111	81
その他	8,707	9,107
流動負債合計	27,082	38,123
固定負債		
資産除去債務	4,054	4,278
その他	23	21
固定負債合計	4,078	4,300
負債合計	31,160	42,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,278	4,435
利益剰余金	36,335	38,167
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	37,810	39,799
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△8	5
為替換算調整勘定	27	18
その他の包括利益累計額合計	18	23
非支配株主持分	1,749	4,273
純資産合計	39,578	44,097
負債純資産合計	70,738	86,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	117,829	119,093
売上原価	55,679	56,432
売上総利益	62,149	62,660
販売費及び一般管理費	52,562	53,774
営業利益	9,586	8,886
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	53
仕入割引	48	47
受取賃貸料	17	18
その他	121	117
営業外収益合計	187	237
営業外費用		
支払利息	16	13
賃貸費用	17	19
持分法による投資損失	-	126
その他	33	57
営業外費用合計	67	217
経常利益	9,706	8,906
特別損失		
固定資産除却損	66	43
減損損失	326	988
その他	46	13
特別損失合計	440	1,045
税金等調整前四半期純利益	9,266	7,860
法人税、住民税及び事業税	2,516	2,273
法人税等調整額	733	472
法人税等合計	3,250	2,746
四半期純利益	6,016	5,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	234	426
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,781	4,687

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,016	5,113
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	58	21
為替換算調整勘定	11	△9
その他の包括利益合計	70	12
四半期包括利益	6,086	5,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,844	4,693
非支配株主に係る四半期包括利益	241	433

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,266	7,860
減価償却費	1,375	1,457
無形固定資産償却費	340	311
長期前払費用償却額	126	332
減損損失	326	988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,479	△1,559
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	16	13
売上債権の増減額(△は増加)	△3,771	△3,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,800	△6,913
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△43	△100
仕入債務の増減額(△は減少)	4,572	4,451
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,201	699
持分法による投資損益(△は益)	-	126
その他	75	139
小計	4,791	4,491
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△16	△13
法人税等の支払額	△2,232	△2,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,543	1,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9	△9
有形固定資産の取得による支出	△3,344	△1,796
資産除去債務の履行による支出	△129	△122
無形固定資産の取得による支出	△680	△1,029
長期前払費用の取得による支出	△1,032	△232
差入保証金の差入による支出	△318	△268
差入保証金の回収による収入	259	156
その他	0	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,255	△3,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,650	10,660
長期借入金の返済による支出	△1,500	△1,500
配当金の支払額	△2,482	△2,794
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,667	6,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	967	4,645
現金及び現金同等物の期首残高	6,300	5,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,268	10,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。